

## 手作りみそがついに完成

優しい味が自慢の「わちゅばや みそ」

「みそは寝て待て」と言うのが、目課程の生徒が総合的な学習の時間で作ったみそが、3か月の時間を経てついに完成した。18日（金）の授業では、生徒たちは3か月ぶりに自分たちが作ったみそと「対面」。興味深く樽の中を覗き込んだり、顔を近づけておいをかいでみたり、味見をしてみたりしながら、出来栄を確認した。

総計50キログラムのみそは、一袋500グラム300円で2月1日（金）に肢体不自由部門の児童生徒の家庭に販売される。みそは、優しい味がセールスポイント。商品名を「わちゅばや みそ」にした。今後、給食のメニューにもみそ汁などで提供される予定だ。



ふたを開けると良いにおいがしました。

## 新春かるたとり大会開催

カードをめくり熱いバトル

17日（木）目課程生徒による「新春かるたとり大会」が行われた。このかるたとり大会、なごやかなムードの中で行われるかと思いきや、非常に熱いバトルとなった。一枚のカードをめくり、各生徒は真剣なまなざしとなり、普段よりも、よりすばやく体を動かす生徒、教員が札を読み終わったと同時に素早く寝返りをしてカードに手を伸ばす生徒、友達にカードを取られて涙ぐむ生徒など、普段の学習ではあまり見ることのできない真剣勝負の戦いとなった。



## ICT器機を活用中

学習場面の中で、タブレットなどICT機器を使った学習が効果を上げていている。例えば朝の会。給食メニューを読み上げる場面では、事前に入力したメニューの箇所に指で触れると、音声で読み上げてくれるというものだ。こうした機器を使って「できる」活動を中学部では今後増やしたい。



一生懸命にカードを取る生徒



タブレットに触れて、給食系の活動をする生徒